

令和元年度県立大師高等学校 不祥事ゼロプログラム

県立大師高等学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的にして、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施責任者

大師高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長・教頭及び事務長がこれを補佐する。また、不祥事ゼロプログラムに係る担当総括教諭をはじめとする総括教諭は、校長及び副校長・教頭を補佐し、事務長を補助する。

2 目標及び行動計画（別紙参照）

3 検証及び評価

（１）第一次検証及び評価

２に規定する行動計画について、９月末までの実施状況を確認し、評価を行う。未実施の場合には１１月中に必要な補完措置を講じる。

（２）第二次検証および評価

２に規定する行動計画について、１月初旬までの実施状況を確認し、評価を行う。未実施の場合には２月中に必要な補完措置を講じる。

（３）最終評価及び全体評価

第二次検証および評価に基づいて実施した補完措置や行動計画の修正などについて、実施状況を確認し、実施した行動等の評価を行う。最終検証を行うとともに、全体評価を行う。最終評価及び全体評価の実施時期は、令和２年３月中旬とする。

（４）プログラム実施の総括

最終評価及び全体評価を踏まえ、令和元年度事不祥事ゼロプログラムの総括を行う。

（５）次年度計画の策定

令和元年度不祥事ゼロプログラムの総括をもとに、新たな目標設定を行い、令和２年度不祥事ゼロプログラムを策定する。

4 実施結果

３の（４）のプログラム実施の総括を踏まえ、「実施結果」をとりまとめ、学校ホームページ等で公開する。

5 事務局

プログラムの策定及び実行の具体的な手続きについては、企画会議（事故防止会議）がこれを行う。

*目標及び行動計画

① 校務外非行防止に繋がる法令遵守意識の向上

目標	公務員としての自覚を持ち、心に隙を作らない意識の徹底を図る	
	行動計画	検証結果
	啓発資料を適宜活用するとともに、新聞等で事案が報告された場合は随時取上げ、注意喚起を行っていく。また、教員を孤立させない職場づくりのため、職員相互がコミュニケーション力を高めることに努め、風通しの良い職場づくりをさらに進める。	

② 体罰、不適切な指導の防止

目標	生徒一人ひとりの特性や置かれた状況を的確に判断し、生徒の立場を理解した指導・支援を行う。	
	行動計画	検証結果
	生徒の指導・支援には必ず複数の教員の目をもって当たる。また、組織として生徒理解を進めるため情報交換・情報共有をより綿密におこなって行く。	

③ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱に係る事故防止

目標	慣れによる事故防止を徹底するため、マニュアル・手順書等の確認を怠らない。	
	行動計画	検証結果
	入学者選抜、成績処理、進路関係業務において、各自が全体の流れをしっかりと把握しリスクの軽減を図るとともに、たとえ例年通りの業務であっても留意すべき点について相互の周知徹底を図り、責任を持って業務に取り組む。	

④ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策

目標	文書管理や情報収集に係るルールを徹底し、不適切な取扱いや流失等の事故の未然防止を徹底する。	
	行動計画	検証結果
	所定の手続きを疎かにしないことが各自のリスク軽減に繋がることをしっかりと自覚し確実に対応していく意識を持つ。節目に応じて校内研修会や一斉チェックを実施する。	

⑤ 効果的なチェック体制に基づく業務執行体制の確保

目標	会議・打合せ等の効率化を図り、職員のモチベーションを維持しながら、組織としての業務遂行に自覚をもって取り組む。	
	行動計画	検証結果
	各自が担当する業務一つひとつに対ししっかりとバックアップ体制を関連部署内で確立する。また、担当する業務が他の業務とどのように関わっているかを常に意識し連絡・調整を怠らない。	

⑥ 会計事務等の適正執行

目標	適切な私費徴収・執行事務を徹底する。	
	行動計画	検証結果
	会計グループが廃止され、各グループ・年次に業務が割振られたことにより、担当者だけでなく全職員が、会計業務の仕組み・手順について理解を深めて行く。また、私費会計マニュアルを常に参照しながら業務に当たる。	

⑦ わいせつ・セクハラ行為の防止

目標	常に相手との関係性を念頭に置き、自覚を持った言動を取るとともに、あらゆるわいせつ・セクハラ行為を許さない、見逃さない学校環境を整備する。	
	行動計画	検証結果
	わいせつ・セクハラ行為の未然防止を図るため、機会に応じた情報提供や自己チェックを行っていく。	

⑧ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

目標	交通法規の遵守の徹底を図る。	
	行動計画	検証結果
	事例の紹介・啓発ポスターの掲示などによる法令遵守の啓発はもとより、特に、余裕を持った行動が事故防止に繋がる点を職員相互の声掛け等により意識させていく。	